

日本鉱物科学会 平成 22 年度 第 2 回定例評議員会議事録

日時：平成 23 年 5 月 24 日（火）19：20～20：20
会場：幕張メッセ 国際会議場 202

出席者

評議員会メンバー

会長：大谷栄治，副会長：村上 隆
評議員：井上 徹，黒澤正紀，小暮敏博，高澤栄一，土谷信高，
留岡和重，長瀬敏郎，中村美千彦，大和田正明，川本
竜彦，榊原正幸，土屋範芳，濱本拓志，宮脇律郎，
石渡 明，榎並正樹，土山 明，富樫茂子
評議員委任状：赤井純治，入船徹男，廣井美邦，坂本尚義，
阿部なつ江，永井隆哉

幹事会メンバー

会長：大谷栄治
副会長：村上 隆
庶務幹事：小山内康人
会員幹事：阿部なつ江(代理・小山内庶務幹事)
会計幹事：中村美千彦
行事幹事：大和田正明
和文誌編集幹事：赤坂正秀
英文誌編集幹事：榎並正樹
広報幹事：柳澤教雄（代理・小山内庶務幹事）
渉外幹事：井上 徹
特務幹事（学振科研費担当）：土屋範芳
特務幹事(会則・内規検討委員会委員長)：土山 明
会計監査委員：伴 雅雄，長瀬敏郎
三鉱連絡委員：大和田正明・小山内康人
選挙管理委員会委員：片山郁夫
地球惑星科学連合 2011 年度学会選出プログラム委員：
角替敏昭，黒澤正紀
地惑連合連絡担当：大谷栄治，石渡明，黒澤正紀

各種委員会委員長

行事委員会委員長：大和田正明幹事
GKK 編集委員会委員長：赤坂正秀幹事
JMPS 編集委員会委員長：榎並正樹幹事
広報委員会委員長：柳澤教雄幹事
渉外委員会委員長：井上 徹幹事
日本鉱物科学会普及教育委員会 委員長：奥山康子
将来企画委員会委員長：村上 隆副会長

各賞選考委員会委員長

日本鉱物科学会賞選考委員会委員長：土山 明
渡邊萬次郎賞選考委員会委員長：石渡 明
日本鉱物科学会論文賞選考委員会委員長：奥山康子
日本鉱物科学会研究奨励賞選考委員会委員長：川本竜彦
日本鉱物科学会応用鉱物科学賞選考委員会委員長：宮脇律郎
櫻井賞選考委員会委員長：加藤 昭（代理・宮脇律郎）

会議に先立ち，小山内庶務幹事より書記として角替敏昭会員が
指名され，満場一致で承認された。

議題

報告事項

1. 会員報告と入会承認（阿部会員幹事 代理：庶務幹事）

平成 22 年度第 1 回評議員会以降の会員動静について報告があ
った。物故会員 4 名（永年会員 2 名，一般正会員 2 名），退会者 9
名（一般正会員 6 名，学生正会員 3 名），入会者 16 名（一般正会
員 8 名，学生正会員 8 名），復活会員 1 名，除名会員 3 名であり，
現時点での会員数は 963 名となった。賛助会員，講読会員を含む

団体登録は 181 件，総数は 1144 件である。

2. 広報報告（柳澤幹事 代理：庶務幹事）

広報活動について以下の報告があった。

- 1) 東日本大震災に関する特設ページを開設した。
- 2) 震災に伴う計画停電による学術情報センターのサービスの一
時停止に対応するために Nifty Serve に臨時 HP を開設した。将
来的には，臨時 HP を正式版として運用予定である。
- 3) 会員に公募情報など各お知らせを送信した。（昨年総会から
大震災まで 20 回送信）
- 4) 水戸大会でのプレスリリースについて地質学会から方針とス
ケジュールの提案検討依頼

<方針>

- (1)今回はシンポジウムを強く推す。
- (2)一般向け講演，教育・普及イベント，表彰，巡検などの関連事
業も紹介する。
- (3)両学会の学術発表の中からそれぞれ 2 件（計 4 件）の「特筆す
べき成果」を強く紹介する（それ以外もノミネートされたもの
は紹介する）。
- (4)「特筆すべき成果」は両学会会員，セッション世話人等の自薦
他薦によりノミネートし，そこから各学会で強く推す 2 件を選
ぶ。
- (5)「特筆すべき成果」の記者向け資料は広報担当者が作り，内容
は両学会で承認を得る。
- (6)公式のプレス発表会を通じずに，個人で記者会見する場合も解
禁日(記事掲載日申し合わせ)は守ってもらうよう呼びかける。

<スケジュール>

- 6 月：両学会会員にプレス発表会のアナウンスと「特筆すべき
成果」ノミネートのお願い
- 6 月 7 日：地質学会要旨締切
- 6 月 30 日：鉱物科学会要旨締切
- 7 月 22 日：ノミネート締切。足りなければ追加募集
- 8 月 12 日まで：記者向け資料作成
- 8 月 26 日まで：両学会で承認
- 8 月 29 日(月)：水戸で記者会見(場所は記者クラブとも相談)
- 9 月 6 日：解禁日(記事掲載)
- 9 月 9 日～11 日：大会

3. 和文誌（GKK）編集報告(赤坂 GKK 編集幹事)

GKK の編集状況について以下の報告があった。

- 1) 印刷状況：40 巻 2 号（3 月号）1 論文 WEB 早期公開中，本誌印
刷準備中。40 巻 3 号（5 月号）特集号 3 論文 WEB 早期公開印
刷準備中。現在査読中論文：8 編。その内受理予定 0 編。
- 2) 2011 年 4 月 8 日 将来企画委員会へ和文誌方針取り纏めを提出。
- 3) 岩石鉱物科学 39 巻 5 号(9 月号)～40 巻 1 号（1 月号）の掲載
件数頁数は以下の通り。原著論文 2 件 31p，短報 1 件 3p，総説
3 件 34p 資料・解説 4 件 35p，新刊紹介 7 件 4p，学会記事（評
議員会・総会議事録）29p，追悼文 2 件 2p，総目次 2p，広告 8 件
5p，白頁 1p 合計頁 146p，1 号 平均頁 48.7p。

4. 英文誌（JMPS）編集報告（榎並 JMPS 編集幹事）

JMPS の編集状況について以下の報告があった。平成 23 年 5 月
23 日(月)13:00-14:00 に JMPS 編集委員会を開催。

- 1) JMPS の発行状況：JMPS 105 巻 5 号(10 月号)～106 巻 2 号(4 月号)，
計 4 号を発行した。詳細は以下の通り。原著論文 11 編/126p，
Letters 17 編/102p，その他 24p，合計 252p。以降の発行予定は，
106 巻 3 号(6 月号)原著論文 3 編/30 ページ(一部早期公開中)，
Letters 5 編/28 ページ(一部早期公開中)，4 号(8 月号)原著論文
1 編。印刷所被災のため 2 号の冊子体はまだ発行できない。
- 2) JMPS の編集状況(2010 年 10 月以降)：総投稿数 36 編(年会 Letter
14 編，通常原稿 22 編)，うち海外投稿数 13 編，Web 投稿 30 編，メー
ル投稿 6 編。査読終了件数 31 件，うち受理原稿 17 編，不受理(含

- む取り下げ)原稿 14 編、査読中原稿 20 編。
- 3) ページチャージ制への移行と投稿規定の一部改訂を行った。
 - 4) SwetsWise と Scopus への参加。
 - 5) 2011 年企画連合 Letter を募集中である。
 - 6) JSPS の出版費補助金が打ち切りとなった。その対応を検討中である。
 - 7) 震災被害に伴う冊子体発行の休止と Thomson Reuters への対応を行った。
 - 8) 日本学会会議学術誌問題検討分科会よりのアンケートについて対応した。
 - 9) 編集委員会審議事項：
 - (1) J-Stage3 への移行について (06/17: 試行終了; 06/30: 最終確認; 08/26: J-Stage3 運用開始; 08/27: J-Stage2 投稿受け付け終了; 2012/03/31: J-Stage2 運用終了)
 - (2) J-stage3 のトップページの体裁について。
 - (3) 編集委員会の構成について
 - (4) JSPS 出版費補助金打ち切りへの対応について
 - (5) その他
 - 10) JMPS105 巻 5 号(10 月号)~JMPS106 巻 2 号 (4 月号) 掲載件数と頁数は以下の通り。Articles 11 件 126p, Letters 17 件 102p, Min. Abst.49 件 13p, Editorial 1p, 投稿規定 1p, Index 4p, Contents 4p, 白頁 1p, 合計頁 252p。
5. 庶務報告 (小山内庶務幹事)

- 1) 評議員会に関連して、以下 17 件のメールでの意見収集、回議が行われた。
 - 2010 年 10 月 15 日メール投票依頼
各委員会委員選出投票依頼 2010 年 11 月 2 日投票結果報告
 - 2010 年 10 月 18 日メール意見依頼
緊急アンケートご協力をお願い、科研費被雇用者の科研費応募資格
 - 2010 年 10 月 18 日メール意見依頼
「時限付き分科細目表」の改正案に関する意見募集
 - 2010 年 10 月 19 日メール回議
学生正会員の入会申込み手続きの簡略化
 - 2010 年 10 月 21 日メール推薦依頼
機関別認証評価委員会専門委員候補者推薦依頼
 - 2010 年 11 月 5 日推薦無し
 - 2010 年 10 月 21 日メール回議
協賛依頼 [連合大会での国際セッション]
2010 年 10 月 26 日承認
 - 2010 年 10 月 22 日メール回議
櫻井賞選考委員会追加推薦委員の承認
2010 年 11 月 5 日承認
 - 2010 年 11 月 2 日メール回議
高圧地球科学における大型研究への賛同、支持依頼
2010 年 11 月 9 日支持承認
 - 2010 年 11 月 28 日メール回議
2011 年地質学会共催摺り合わせ案
2010 年 11 月 30 日承認
 - 2010 年 11 月 29 日メール回議
[JMPS]J-STAGE 投稿審査システム検討に関する報告とお願い
 - 2010 年 12 月 9 日メール意見収集
夢ロードマップ「宇宙惑星科学」について
 - 2011 年 1 月 19 日メール依頼
会員増加対策実施のお願い
 - 2011 年 2 月 7 日メール意見交換
鉱物科学会総合対策についての意見交換
 - 2011 年 4 月 4 日アンケート依頼
鉱物科学会総合対策アンケートお願い
 - 2011 年 4 月 11 日メール伺い
学会の財政についてのお伺い
 - 2011 年 4 月 21 日メール審議依頼

- 臨時評議員会の開催と臨時総会開催の提案
- 2011 年 5 月 15 日メール審議依頼
メール臨時評議員会開催と重要評議員会審議
 - 2) 連合への対応に関連して、以下 11 件のメールでの意見収集、回議が行われた。
 - 2010 年 9 月 22 日
英文ジャーナル普及支援のご提案←JMPS2011 年 2 月号より表紙へ連合ロゴマーク印刷
 - 2010 年 10 月 15 日
科研費被雇用者の科研費応募資格 (緊急アンケート)
←評議員会へ意見依頼
 - 2010 年 10 月 25 日
学術の大型研究計画に関する調査 (平成 22 年度) について (締切 11/15)
 - 2010 年 12 月 1 日
2011 年連合大会期間中の有科学協会エリア (個別デスク) へ申し込む
 - 2010 年 12 月 6 日
(アンケートご協力をお願い)研究発表大会の演題登録システム等について←12 月 8 日回答
 - 2010 年 12 月 9 日
地球惑星科学「夢ロードマップ」について意見収集
2011 年 1 月 6 日回答
 - 2010 年 12 月 10 日
学協会顕彰制度について (お尋ね)
12 月 20 日回答
 - 2011 年 3 月 13 日
東北地方太平洋沖地震 情報提供・共有のお願い
学会事務局一時休止案内を依頼
 - 2011 年 5 月 10 日
5 月 25 日開催第 4 回学協会長会議開催の御案内
大谷会長出席予定
 - 2011 年 5 月 16 日
5 月 26 日開催第 3 回定時社員総会召集通知
大谷会長出席予定
 - 2011 年 5 月 21 日
共同声明について依頼
 - 3) 後援、共催、協賛報告: 8 件の後援、共催、協賛をした。
 - 4) その他
 - (1) 国際地学オリンピック 2012 日本大会は震災の影響により開催返上となった。
 - (2) 震災による事務局一時休止: 2011 年 3 月 11 日震災以後 4 月 11 日まで事務局での業務を一時中止し、一部業務を在宅業務で行った。
6. 行事・年会報告 (大和田行事幹事)

- 1) 日本地球惑星科学連合 2011 年大会を以下の通り実施中である。
 - 日程: 2011 年 5 月 22 日(日)~27 日(金)
 - 会場: 幕張メッセ国際会議場
- 2) 日本鉱物科学会 2011 年年会・総会は日本地質学会と共催し、合同学術大会(水戸大会)として以下の通り開催予定である。
 - 日程: 2011 年 9 月 9 日(金)~11 日(日)
 - 会場: 茨城大学水戸キャンパス
 - 内容: 年会案内記事 HP に掲載。
 - 講演申込み期間: 6 月 14 日(火)14 時~6 月 30 日(火)14 時。
- 3) 日本鉱物科学会 2012 年年会・総会は以下の通り開催予定である。
 - 日程: 2012 年 9 月 19 日~21 日(予定)
 - 会場: 京都大学

7. 会計報告 (中村会計幹事)

日本鉱物科学会平成 22 年度会計中間報告として以下の 3 点が行われた。

- 1) 平成 22 年度一般会計中間報告 (平成 22 年 9 月 1 日～平成 22 年 5 月 15 日)
- 2) 2010 年年会会計決算報告
- 3) 平成 22 年度科研費補助金収支報告

8. 会計監査報告 (伴会計監査委員)

2010 年年会会計決算監査報告と平成 22 年度科研費補助金内部監査報告が示され、適切に処理されている旨報告があった。

9. 科研費報告 (土屋特務幹事)

- 1) 平成 22 年度科研費補助金内部監査を平成 23 年 5 月 12 日、18 日に実施した。
- 2) 平成 23 年度科研費補助金は不採択となった。

10. 将来企画委員会報告 (村上委員長)

5 月 24 日(火) 13:00-14:00 に将来企画委員会開催を実施して以下の案件を議論した。

- 1) 会長、副会長の選出方法 (次期会長候補者として副会長を選挙で選出。9 月の総会で細則を変更予定。)
- 2) 会員の増加
- 3) 年会のあり方 (2～3 年に 1 回は他学会と共催あるいは同時開催とする現在の方向を継続する。) / 年会前のスクール (ショートコースやレクチャーの実施を検討)
- 4) GKK の今後について: 学会の将来像と会員のコンセンサスをもとに検討を行う。

11. 教育普及委員会報告 (奥山委員長)

普及教育委員長の交代: (旧) 奥山康子 → (新) 黒澤正紀

12. 地球惑星科学連合報告 (大谷幹事)

- 1) Review 誌をつくる計画が進んでいる。
- 2) 公益法人化に向けて動いている。

13. 三鉱連絡会報告 (大和田幹事)

三鉱名簿を発行した。

14. 学術会議の報告 (大谷連携委員)

- 1) 地球科学関連のいくつかの研究プロジェクトが提案された。学会関係として、放射光高圧関係と惑星探査回収試料分析センターの 2 件がある。→地球惑星科学の大型研究の改訂作業が行われた。学会関連では「高圧地球惑星科学コンソーシアムの形成による地球惑星内部の解明」が提案されている。(惑星探査回収試料分析センターは他とマージされたようです。)

- 2) 大震災に関する声明を地球惑星科学連合として発表した。→「自然災害に向き合う強い日本社会の復興のために」という地球惑星科学関連学協会共同声明を発表予定である。

15. その他

片山選挙管理委員より、平成 23 年度評議員候補者として 23 名の推薦があった旨報告がなされた。

11. 承認事項

1. 会員承認 (阿部会員幹事: 代理庶務幹事)

入会、復活、除名について審議され、下記の通り承認された。

- 1) 入会の承認 合計 16 名 (入会申込み書別添え)
以下の正会員 8 名、学生正会員 8 名の入会申込書が回覧され、

入会が承認された。

<一般正会員 8 名>

会員氏名	勤務先名
紋川 亮	東京都立産業技術研究センター
長谷川健	茨城大学理学部
坂巻竜也	The University of Chicago, GSECARS
村上元彦	東北大学大学院理学研究科地球惑星物質科学科
遠藤俊祐	名古屋大学大学院環境学研究所
村山憲弘	関西大学環境都市工学部エネルギー・環境工学科
鎌田誠司	東北大学大学院理学研究科地学専攻
針金由美子	産業技術総合研究所地質情報研究部門

<学生正会員 8 名>

会員氏名	在学先(入会申込み時点)	指導教官名
Setiawan Nugroho	九州大大学院比較社会文化学府 D1	小山内康人
朝倉顯爾	大谷専修学院	平島崇男
皆川広太	京都大学大学院理学研究科	M2 平島崇男
東野文子	京都大学大学院理学研究科	M1 河上哲生
柴崎裕樹	東北大学大学院理学研究科	D3 大谷栄治
佐津川貴子	静岡大学大学院自然科学系教育部	D3 道林克禎
松浦 圭	東京大学大学院理学系研究科	D2 村上 隆
椿 晴香	東京大学大学院理学系研究科	M2 村上 隆

- 2) 復活 1 名 (齊藤正宣) が承認された。

3) 除名の議決

除名対象者 3 名が議決により除名となった。

2. 平成 22 年度日本鉱物科学会賞受賞候補者報告と承認

(土山委員長)

- 1) 報告された板谷徹丸会員、杉山和正会員を平成 22 年度日本鉱物科学会賞第 6 回と第 7 回受賞者として承認した。
- 2) 2 名同時受賞の場合は、年長者を先にするよう内規を変更する。

3. 平成 22 年度渡邊萬次郎賞受賞候補者報告と承認 (石渡委員長)

報告された丸茂文幸会員を平成 22 年度渡邊萬次郎賞第 27 回受賞者として承認した。

4. 平成 22 年度日本鉱物科学会論文賞受賞候補論文報告と承認 (奥山委員長)

- 1) 報告された以下の 2 編を受賞論文として承認した。

<平成 22 年度日本鉱物科学会第 9 回論文賞受賞論文>

Title: Linking P-T path with development of continuous phosphorous zoning in garnet during high-temperature metamorphism-an example from Lützow-Holm Complex, East Antarctica
Authors: Tetsuo KAWAKAMI and Tomokazu HOKADA
Journal of Mineralogical and Petrological Sciences,
Vol. 105, 175-186, 2010
[受賞者となる会員著者] 河上哲生, 外田智千

<平成 22 年度日本鉱物科学会第 10 回論文賞受賞論文>

Title: Metastable transformations of eclogite to garnetite in subducting oceanic crust
Authors: Masayuki NISHI, Tomoaki KUBO and Takumi KATO
Journal of Mineralogical and Petrological Sciences,
Vol. 104, 192-198, 2009.
[受賞者となる会員著者] 西 真之, 久保友明, 加藤 工

- 2) 論文賞授賞適格論文認定に関する委員会内規を以下の通り変更する (下線部が変更点)。

(選定方法)

1. 審査対象論文は受賞年の年初から遡って3ヶ年以内の掲載論文とする。
2. 委員は、あらかじめ審査対象論文より各2編を選考候補論文として推薦する。この際は論文に順位はつけない。また、簡単な推薦理由を委員会に公示する。委員会は、各委員の推薦論文のリストを作成する。
3. 委員会は2回の投票と審議によって、授賞適格論文を選定する。投票と審議の対象になるのは、各委員より推薦された論文とする。
4. 投票は一位を2点、二位を1点として集計し、各対象論文の得点順位を決定する。
5. 第2次投票は… (以下、変更なし)
5. 平成22年度日本鉱物科学会研究奨励賞受賞候補者報告と承認
(川本委員長)

報告された大藤弘明会員、石丸聡子会員を第7回と第8回の平成22年度日本鉱物科学会研究奨励賞受賞者として承認した。

6. 平成22年度日本鉱物科学会応用鉱物科学賞受賞候補者報告と承認
(宮脇委員長)

報告された紋川 亮会員を平成22年度日本鉱物科学会応用鉱物科学賞第4回受賞者として承認した。

7. 平成22年度櫻井賞受賞候補者報告
(加藤委員長 代理 宮脇委員)

平成22年度櫻井賞及び櫻井賞奨励賞の受賞候補者は該当者が無い旨承認した。

III. 審議事項

1. 日本鉱物科学会の運営・財政方針について

大谷会長より、学術振興会からの出版助成金の不採択、財政状況、JMPSのe-journal化アンケート結果等の状況が報告され、平成23年度予算案作成のためのA、B、C案の説明がなされた。会員からの意見を参考に今後評議員会にて方針をまとめ、水戸大会総会において予算案および規約改正案を提示することが了承された。

2. その他

- 1) モンゴル資源地質学会との交流協定について了承された。
- 2) 博物館委員会(仮称)の設置について了承された。